

目次		地震編	
はじめに.....	P1-2	地震・液状化ハザードマップ	P27-28
相生市の災害想定について ..	P3-4	地震・液状化について ..	P29-34
水害編		備えと対策	
洪水ハザードマップ (想定最大規模降雨・L2)	P5-6	津波ハザードマップ (想定最大規模・L2)	P35-36
洪水・土砂災害ハザードマップ (計画規模降雨・L1)	P7-18	津波について ..	P37-38
洪水について ..	P19-20	警戒レベル・情報収集	P39-40
土砂災害について ..	P21-22	災害の想定規模について ..	P41-42
高潮ハザードマップ (想定最大規模・L2)	P23-24	避難時の行動について ..	P43-44
高潮について ..	P25-26	非常持ち出し品・備蓄品 ..	P45-46
		地域の防災活動について ..	P47-48
		避難所リスト ..	P49-50

「命を守る地図」について

近年、今までにない大雨による甚大な洪水被害や土砂災害、被害が大きくなる震度5以上の地震が全国各地で発生しています。

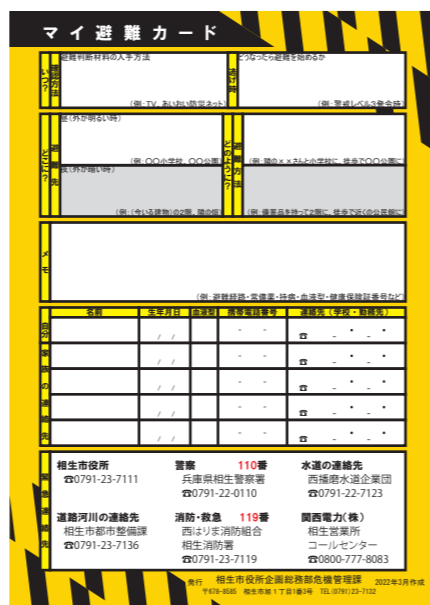
この「命を守る地図」相生市ハザードマップは、相生市で発生が想定されている災害と、その被害の規模を地図に示しています。

災害が発生してから、「命を守る行動」を考えていては、間に合わなくなることもあります。災害が発生していない平時に、自分の家や学校、勤務先などにどのような災害と被害が想定されているかを確認しましょう。

避難とは、『難』を『避』けることです。安全な場所にいるならば、避難所に行く必要はありません。また、安全ならば親戚や知人宅も避難先になります。

台風の接近や、長く続く大雨による河川水位の上昇など、予測できる災害であるならば、事前に避難準備をして早め早めの行動をとるようにしてください。避難準備や避難時の行動を整理した「マイ避難カード」を作成しておく、と、落ち着いて行動することができます。

家族や友人と一緒に本冊子を見て、災害リスクや避難行動を共有し、防災意識を高めていただければ幸いです。



避難行動判定フロー



平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

「命を守る地図」で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に災害の被害想定がありますか？

被害想定がなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住いの方は、相生市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、**立退き避難**（自宅の外に避難）が必要です。

浸水の危険があっても、
①洪水により、家屋が倒壊や崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
②浸水する深さよりも高いところにいる。
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水や食料などの備えが十分にある。
場合は、**屋内安全確保**（自宅に留まり安全を確保すること）も可能です。

例外

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。
(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、**相生市が指定している指定緊急避難場所**に**避難**しましょう。

警戒レベル4 避難指示が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。
(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4 避難指示が出たら、**相生市が指定している指定緊急避難場所**に**避難**しましょう。